

令和4年第4回安城市議会定例会請願文書表

令和4年11月30日

番 号	請 願 第 1 号	受理年月日	令和4年11月17日
件 名	小中学校給食費の無料化を求める請願		
提 出 者	田 村 智 子 他2, 475名		
紹 介 議 員	石 川 翼 森 下 祥 子		
付 託 委 員 会	市民文教常任委員会		
要 旨	<p>請願の趣旨</p> <p>長引く不況に加え新型コロナ禍、物価高騰のもとで市民の暮らしは、ますます厳しさを増しています。</p> <p>憲法第26条は「義務教育は、これを無償とする」と定めています。しかし、実際に無償化されているのは授業料と教科書代のみで、他に教材費、学用品、制服、体操着、修学旅行積立金などが必要です。とりわけ重い負担が学校給食費です。</p> <p>2021年度1年間に安城市の保護者が負担した給食費は、小学校48,705円、中学校55,390円にのぼります。給食費は子どもひとりひとりに必要なもので、複数の子どもを持つ家庭では、負担はさらに大きくなります。</p> <p>現在、安城市独自の制度として、第3子以降の給食費が無料化されており、感謝しています。しかし、第1子が高校卒業後に大学や専門学校等に進学し、家計としては負担が増えるのに給食費無償化の対象から外れてしまいます。</p> <p>OECDの統計によると、2018年の日本の相対的貧困率は15.7%で、人口の6人に1人が平均より低い所得で生活しています。子どもの場合は、7人に1人が貧困状態となっています。</p> <p>安城市における平均所得は10年来、ほぼ横ばい状態です。そのうえ2021年は前年を下回ったため、多くの市民がいっそう厳しい生活をしています。</p> <p>「子どもを応援すればみんな幸せ」として「子育て支援5つの無料化など」を実施されている兵庫県明石市では、人口が増え、地域経済が活性化し税収が増加、その財源を活用し障がい者や高齢者福祉の充実へと、まさに好循環の流れができています。</p> <p>家庭が貧しいために、満足な食事がとれず学校給食が主な食事になっている子どもさえいます。すべての子どもが、給食費の心配なく平等に給食を食べられるようにするためにも、保護者の給食費負担を軽減することが求められます。</p> <p>よって、次の事項を実施していただくことを請願します。</p>		
	<p>請願事項</p> <p>給食の質を落とすことなく、小中学校の全児童・生徒の給食費を無料にしてください。</p>		